

夏原の**施工事例紹介** vol.17～**佛教大学二条キャンパス**～

どれほど過酷なスケジュールや予期せぬトラブルがあっても、決して揺らぐことのない品質へのこだわり。

それを実現するのは、特別な魔法ではなく、日々の「当たり前」を徹底する地道な努力です。

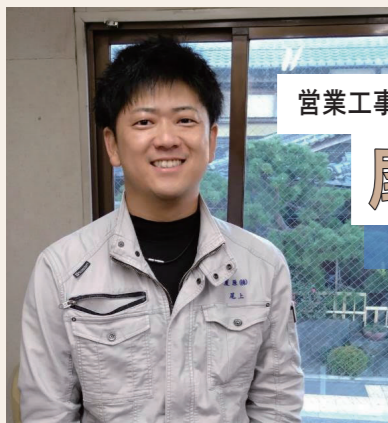
厳しい条件下でも焦ることなく、仲間が働きやすい環境づくりに徹したリーダーたち。

逆境のなかでも決して下を向かず、静かに、そして力強く現場を完工へと導いた職人たちの誇りをお届けします！

現場名：佛教大学二条キャンパス

工期：2025年8月～2026年2月

人工：1500名



営業工事課 課長

おのうえ けんじ
尾上 賢司さん

営業時の**こだわり**過去の課題に寄り添う**提案**

お客様が以前の施工会社に抱えていた課題などを伺ったうえで、当社の強みである「現場でのコミュニケーション能力」による違いをお見せできるよう意識しました。当社の職人さんは、前後の設備業者さんや電気業者さんともスムーズに連携してくれます。そうした良さをお伝えするようになりました。

職人さんへの**メッセージ**

平日の人員確保が難しい中、土曜日の応援に快く来てくださった職人の皆様には感謝の気持ちしかありません。現場が無事に終わり、東急建設の所長をはじめ皆様喜んでいただけたのも、皆様のご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。

受注の**経緯**現場の力が**つないだ3件目**

東急建設様との初取り引きは約3年前でした。当時の所長に当社の施工を評価していただき、丹波篠山での案件に続き、今回3件目となる佛教大学二条キャンパスの工事を受注しました。私が特別な営業をしたというよりも、現場で職人さんが**確実な仕事をしてくれた結果が、今回のリピートに結びついています。**

現場での**工夫**人員不足をカバーした**職人さんたちの連携**

本現場では、繁忙期のため平日の人員固定が困難でしたが、土曜施工が可能だったことから、不足する作業を土曜日に集中させる体制をとりました。普段8名程度の現場が土曜日には急遽20名以上になる状況が約2か月間続き、現場にはご迷惑をおかけしたという思いもあります。それでも、職人さんたちが日頃から「この作業は土曜に回して問題ないか」と現場内で細やかに調整し、他業者からも了承を得て動いていただいたからこそ、なんとか現場を納めることができました。



わたなべ ゆう
渡邊 悠さん

下地職長を
務めました！

思い出の**エピソード**イベント交流で育んだ、現場を支える**チーム力**

半年ほど滞在した現場でしたが、元請けの所長がイベント好きな方で、餅つき大会やビンゴ大会、竣工ゴルフコンペなど、交流の機会が多くありました。これほど職人全員を集めてイベントを行う現場は珍しいと思います。他工程の担当者とも関係性が深まり、事前のコミュニケーションが取れていたことで、とっさの対応や業務中の円滑なやり取りに繋がりました。そして、現場のトップである元請けの所長と気さくに話せる関係になれたことも印象に残っています。冗談を交わしたり、「なべちゃん」とあだ名で呼ばれるほど親しくなれたりしたのも嬉しい出来事でした。

職人さんへの**メッセージ**

日頃から共に作業する信頼できるメンバーが揃い、安定していつもの仕事をしてくれました。今回もお疲れ様でした。



にしむら じゅんじ
西村 淳二さん

ボード職長を
務めました！

ボード職長としての**こだわり**「いつも通り」を支える、納得の**環境作り**

今回の工事では、約4か月間ボード職長を務めました。大切にしたのは特別なことではなく、「いつも通り一生懸命取り組む」姿勢です。現場には経験豊富なベテラン職人が多く集まっていました。そのため、細かく指示を出すよりも、皆さんが納得感を持って、気持ちよく仕事に向き合えるよう意識しました。

職人さんへの**メッセージ**一人ひとりの**責任感が支えた工期の完遂**

人数的に余裕がある現場ではありませんでしたが、協力してくれた職人の皆さんは非常に責任感が強く、想像以上のスピードで対応してくれました。厳しいスケジュールでも、一人ひとりが仕事に真摯に向き合ってくれたおかげで、無事に工期を守ることができました。皆さんが責任を持って動いてくれたことに、本当に助けられたと感じています。

梅雨の現場、ここに気をつけよう!

梅雨時の現場では、湿気や想定外の雨漏りが施工品質に直結します。トラブルを未然に防ぐための細やかな観察ポイントと、被害を最小限に抑える事前準備、そして他業者と連携した柔軟な段取りの工夫に迫ります。

梅雨時に注意すべきポイント

湿気と雨漏りのリスクを観察 /

内装の仕事では、湿気が高いと岩綿吸音板などの仕上げ材に影響が出ます。メーカーが推奨する湿度基準を超えた場合は施工を控えるなどの配慮が必要です。また、下地材は鉄製のため、湿気が多いと結露や錆の原因となり、ボードの場合はカビや破損にもつながります。建物の外壁が完成していない初期段階では、どこから雨が入り込むかを常に気にして見回ることが必要です。建物の中から外を見て、空が見える場所をチェックするのはもちろん、普段から雨が降った際にどこから水が入ってくるかを観察しておくことが重要だと考えています。また、においによる確認も有効で、特に地下など湿気が溜まりやすい場所は、カビや湿気のおおがしたら水が回っている可能性が高いと判断します。

雨天時に確認すること

被害を防ぐ事前準備と搬入 /

トラブルを未然に防ぐためには、普段の雨と、梅雨の終わり頃に一気に降るゲリラ豪雨の両方を想定しておく必要があります。最も雨の被害を受けやすい危険な場所はどこなのか、一番よく知っている現場監督と相談しながら確認しています。雨天時の材料搬入では、小雨であればシートをかけますが、本降りの場合は搬入を一旦止めるか、雨を避けられる屋根のある場所を探すようにしています。どうしても搬入が必要な場合は、上部の数枚は廃棄する覚悟で入れることもあります。濡れた材料を施工することは原則として避けています。保管時も、水が溜まりそうな場所を避け、床に資材をかませてかさ上げし、万が一水が回っても被害を最小限に抑えられるように工夫しています。

過去の失敗談

ゲリラ豪雨の予測と過去の学び /

過去には、全く予想できない場所から水が入り込み、濡れたボードを張り替えなければならなくなった経験が多々あります。「ここなら大丈夫だろう」と想定して施工した場所から雨が吹き込み、自身の見立ての甘さを痛感することもありました。水はどこから入ってくるか見極めるのが非常に難しく、ゲリラ豪雨のときは特に予測が困難といえます。建物の初期段階では周囲の土や床の方が高い場所もあり、一気に雨が降ると低い方へ水が流れ込んできます。このような経験から、少しでも濡れそうな場所は無理に施工せず、空けておくようにしています。下地が濡れている場所には材料を置かず、下地の中に水滴が溜まっていないかを必ず1回確認した上で作業を進めることを徹底しています。

段取りの工夫やアドバイス

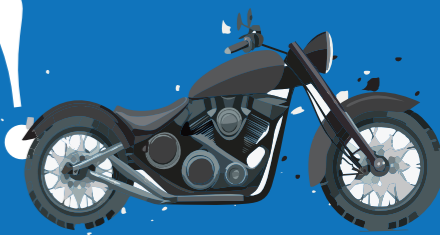
柔軟な段取りとチーム内の連携 /

雨の日は職人のモチベーションも下がりやすいため、なるべく乾燥している場所を選んで作業を進めるようにしています。天気予報を確認し、雨の影響を受けそうな場所は後回しにして、他の場所の作業を進められるよう他業者と調整します。大型の現場では全てを一度に塞ぐことは不可能なため、外壁ができていない場所を狙って材料を入れたり、作業を進めたりする工夫が必要です。予定していた場所の作業を延期すると工程が厳しくなるため、優先順位の変更を含めた柔軟な対応が求められます。最終的には、現場監督や他業者と密にコミュニケーションを取り、状況を見極めながら作業を進めることが最も大切です。

なかむら しげはる
中村 重治さん



俺のバイク自慢!



社員の皆さんのこだわりの乗り物を紹介する愛車自慢のコーナー。今回は、美しいフォルムを持つ大型バイクに魅了された2名の社員が登場します!楽しみ方は違えど、愛車への思いは同じ。それぞれの自慢の愛車と、最高の休日のエピソードをご紹介します。

ひらた むつはる
平田 睦敏さん



愛車について

私の愛車は、数か月前に購入したハーレーダビッドソンの「ローライダーS」です。休日にバイクで走ろうと思い立ち、店頭へ足を運びました。事前に特定のモデルを買おうと決めていたわけではなく、ローライダーSの全体のフォルムを一目見て直感で気に入りました!

愛車の自慢ポイント

バイクに対して特別なこだわりや熱い思い入れがあるわけではありません。しかし、家で寝ているよりもバイクで走っている方が健康的であり、私にとって1つの癒しになっています。特定の部位へのこだわりなどを意識することなく、ただ純粋に景色を見ながら走る時間を楽しんでいます!

愛車との思い出

四国へのツーリング

2025年10月後半には、紅葉を見るために1人で四国へ行きました。1度出かけると長く乗ることが多く、このときも10時間以上運転。長時間の運転で体は痛くなりましたが、景色を楽しむことができ良い気分転換になりました。



暖かい時期には月に数回ほど乗り、出かけた先で景色の写真を撮るなどして過ごしています。

さわだ とよひさ
澤田 豊久さん



愛車について

4年半ほど前から、ハーレーダビッドソンの「XL1200X」、通称「フォーティーエイト」に乗っています。以前から気になっていたのですが、購入の一番の決め手はその洗練されたフォルムでした。実際に試乗した際、「やっぱり良いな」と感じ、購入に至りました!



愛車の自慢ポイント

何よりもこの外観が気に入っています。特に、ステップが前方にある「フォワードコントロール」というスタイルが最高です。足を前方に投げ出すような独特の乗車姿勢に、たまらない格好良さを感じます。また、カスタムの自由度が高いのも魅力。パーツを組み合わせ、自分の個性を反映させて自分だけの1台に仕上げていく過程も楽しんでいます!

愛車との思い出

仲間と駆け抜ける最高の休日

休日は地元の友人たちと数台でツーリングに出かけるのが恒例です。淡路島を一周したり、福井県の永平寺を訪れたり、目的地を決めて走ります。晴天の下、バイクで駆け抜ける爽快感は何物にも代えがたいものです。目的地に向かう途中の道の駅でコーヒーを飲み、談笑しながら食事をするなど、仲間と過ごす豊かな時間すべてが、私にとって大切な思い出になっています!

